

CF ロガーコマンド版 治具アプリ「CFCommand」取扱説明書

2007年7月30日 (株)データテクノ 宮下 統基

目次

- 1 概要
- 2 動作環境
- 3 インストール方法
- 4 アンインストール方法
- 5 起動方法
- 6 画面と各コントロールの役割
 - 6.1 Write 側コントロール
 - 6.1.1 テキストボックス(「Write Open」ボタン横)
 - 6.1.2 「Write Open」ボタン
 - 6.1.3 「Append Open」ボタン
 - 6.1.4 テキストボックス(「Put Data」ボタン横)
 - 6.1.5 「Put Data」ボタン
 - 6.1.6 「from file」「from console」ラジオボタン
 - 6.1.7 「Select」ボタン(「from file」ラジオボタン下)
 - 6.1.8 「Close」ボタン(「from file」ラジオボタン下)
 - 6.1.9 テキストボックス(「from file」ラジオボタン下)
 - 6.1.10 テキストボックス(「from console」ラジオボタン下)
 - 6.1.11 「Close」ボタン
 - 6.1.12 「All Erase」ボタン
 - 6.2 Read 側コントロール
 - 6.2.1 テキストボックス(「Read Open」ボタン横)
 - 6.2.2 「Read Open」ボタン
 - 6.2.3 テキストボックス(「Get Data」ボタン横)
 - 6.2.4 「Get Data」ボタン
 - 6.2.5 「file save」チェックボックス
 - 6.2.6 テキストボックス(「file save」チェックボックス下)
 - 6.2.7 「Select」ボタン(「file save」チェックボックス下)
 - 6.2.8 「Close」ボタン(「file save」チェックボックス下)
 - 6.2.9 テキストボックス(「Select」ボタン下)
 - 6.2.10 「Close」ボタン
 - 6.3 テキストボックス「Status」
- 7 操作例：コンソールからデータを送信する
- 8 操作例：ファイルからデータを送信する

9 操作例：CF ロガーのファイルを受信し、PC のファイルに保存する

1 概要

このプログラムは、CF ロガー（コマンド版）コマンド単位でのアクセスをサポートするテスト用アプリケーションです。CF ロガー（コマンド版）に、任意のコマンドを送信する事が出来ます。

なお、ここで説明するプログラムのバージョンは 1.2 となります。

2 動作環境

- ・ Microsoft Windows 汎用
(Windows XP Home Edition、Windows2000 での動作のみ確認済み)
- ・ .Net Framework 2.0 以上(必須)

3 インストール方法

- 1、CFCommand_File.lzh を解凍してください。
- 2、解凍した中の setup.exe を実行し、指示に従ってインストールして下さい。この際、.netFramework2.0 以上が入っていない場合、自動的にインターネットよりインストールを開始します。

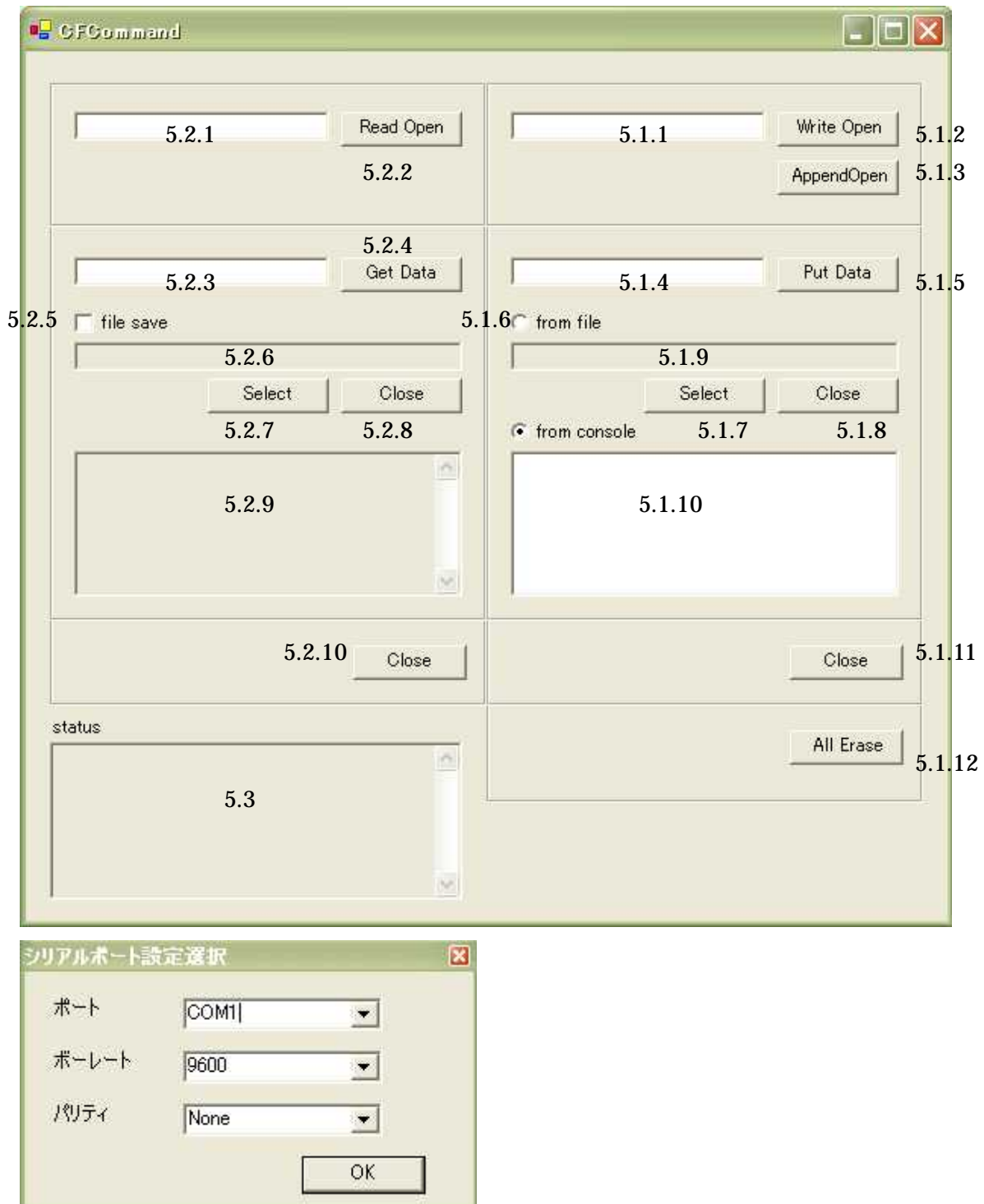
4 アンインストール方法

- 1、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から、CFCommand_file を選び、削除を行ってください。

5 起動方法

インストールが完了すると、スタートメニューのプログラムに、「DataTecno」というフォルダが出ています。その中に、CFFile と CFCommand へのショートカットが出ていますので、CFCommand を選択して下さい。

6 画面と各コントロールの役割



6.1 Write 側コントロール

6.1.1 テキストボックス (「Write Open」ボタン横)

CF ロガー側に書き込むファイルの名前を入力して下さい。

6.1.2 「Write Open」ボタン

左側テキストボックス (5.1.1) の内容で、書込オープンコマンドを送信します。

6.1.3 「Append Open」ボタン

左側テキストボックス (5.1.1) の内容で、追加書込みオープンコマンドを送信します。

6.1.4 テキストボックス (「Put Data」ボタン横)

書込コマンドで何バイト送信するかを、10 進数値で入力して下さい。

6.1.5 「Put Data」ボタン

左側テキストボックス (5.1.4) に入力されているバイト数分のデータを、書き込みコマンドとして送信します。送信するデータは、後述の 5.1.6「from file」「from console」で選択して下さい。

6.1.6 「from file」「from console」ラジオボタン

5.1.5 ボタン「Put Data」を押した時に送信するデータを選択する。

6.1.7 「Select」ボタン (「from file」ラジオボタン下)

送信するファイルを選択します。クリックするとファイル選択ダイアログが表示され、選択したファイルを開きます。

オープンされたファイルは、後述の 5.1.8 ボタン「Close」がクリックされるか、アプリケーションが終了するまで開かれたままとなります。

6.1.8 「Close」ボタン (「from file」ラジオボタン下)

5.1.7 ボタン「Select」でオープンされた PC 側送信ファイルをクローズします。

6.1.9 テキストボックス (「from file」ラジオボタン下)

現在開かれている、送信する PC 側ファイルのフルパスが表示されます。選択するには、5.1.7 ボタン「Select」をクリックして下さい。

6.1.10 テキストボックス (「from console」ラジオボタン下)

送信したいデータを、このテキストボックスに入力してください。

6.1.11 「Close」ボタン

書込ファイルクローズコマンドを送信し、CF ロガー側の書込ファイルをクローズします。

6.1.12 「All Erase」ボタン

全ファイル消去コマンドを送信します。

6.2 Read 側コントロール

6.2.1 テキストボックス（「Read Open」ボタン横）

CF ロガー側の読み込むファイルの名前を入力してください。

6.2.2 「Read Open」ボタン

左側テキストボックス(5.2.1)の内容で、読込オープンコマンドを送信します。

6.2.3 テキストボックス（「Get Data」ボタン横）

読込コマンドで何バイト要求するかを、10 進数値で入力して下さい。

6.2.4 「Get Data」ボタン

左側テキストボックス(5.2.1)に入力されているバイト数分のデータを取得するよう、読込コマンドを送信します。

6.2.5 「file save」チェックボックス

PC 側の読込データ保存ファイルが開かれている状態で、このチェックボックスがチェックされている場合、受信したデータを PC 側の読込データ保存ファイルに順次書き込んでいきます。

6.2.6 テキストボックス（「file save」チェックボックス下）

現在開かれている、PC 側読込データ保存ファイルのフルパスを表示します。

6.2.7 「Select」ボタン（「file save」チェックボックス下）

PC 側読込データ保存ファイルを選択する。クリックするとファイル選択ダイアログが表示され、選択したファイルをオープンします。

オープンされたファイルは、後述の 5.2.8 ボタン「Close」がクリックされるか、アプリケーションが終了するまで開かれたままとなります。

6.2.8 「Close」ボタン（「file save」チェックボックス下）

5.2.7 ボタン「Select」でオープンされた PC 側読込データ受信ファイルをクローズします。

6.2.9 テキストボックス (「Select」ボタン下)

5.2.4 ボタン「Get Data」をクリックした時に、受信したデータが表示されません。

6.2.10 「Close」ボタン

読込ファイルクローズコマンドを送信し、CF ロガー側の読込ファイルをクローズします。

6.3 テキストボックス「Status」

送信したコマンドと、受信したリザルトコードが表示されます。新しい物が上から順に表示され、古い物は下に繰り下がっていくよう表示されます。

7 操作例：コンソールからデータを送信する

以下の手順は、全て Write 側コントロールを操作して下さい。

手順：

アプリ起動時にポート選択ダイアログが表示されるので、使用するポート、ボーレート、パリティを選択する。

5.1.1 テキストボックスに、CF ロガー側に作成したいファイル名を入力し、5.1.2 ボタン「Write Open」をクリックする。

5.1.6 ラジオボタン「from console」を選択し、その下の 5.1.9 テキストボックスに送信したい内容を入力する。

5.1.4 テキストボックスに、送信したいデータのバイト数を入力し、5.1.5 ボタン「Put Data」をクリックする。

書き込み終了後、5.1.8 ボタン「Close」と、5.1.11 ボタン「Close」をクリックする。

8 操作例：ファイルからデータを送信する

以下の手順は、全て Write 側コントロールを操作して下さい。

手順：

アプリ起動時にポート選択ダイアログが表示されるので、使用するポート、ボーレート、パリティを選択する。

5.1.1 テキストボックスに、CF ロガー側に作成したいファイル名を入力し、5.1.2 ボタン「Write Open」をクリックする。

5.1.6 「from file」ラジオボタンを選択し、5.1.7 ボタン「Select」をクリックし、送信したいファイルを選択する。

5.1.4 テキストボックスに、送信したいデータのバイト数を入力し、5.1.5 ボタン「Put Data」をクリックする。

書き込み終了後、5.1.8 ボタン「Close」と、5.1.11 ボタン「Close」をクリックする。

9 操作例：CF ロガーのファイルを受信し、PC のファイルに保存する

以下の手順は、全て Read 側のコントロールを操作して下さい。

手順：

アプリ起動時にポート選択ダイアログが表示されるので、使用するポート、ボーレート、パリティを選択する。

5.2.1 テキストボックスに、CF ロガーから読み出したい CF ロガー側ファイル名を入力し、5.2.2 ボタン「Read Open」をクリックする。

5.2.7 ボタン「Select」をクリックし、受信したデータを保存したいファイルを選択する。

5.2.3 テキストボックスに、受信したいデータのバイト数を入力し、5.2.4 ボタン「Get Data」をクリックする。

読込終了後、5.2.8 ボタン「Close」と、5.2.10 ボタン「Close」をクリックする。